

プロフィール



名前	中村 隼明
所属部署	基礎生物学研究所
職種	ポスドク（学振PD）
研究室に配属された日	2011. 4. 1.
出身地	兵庫県神戸市
趣味	登山・写真撮影

インタビュー

Q1 何を目指して研究をしていますか？

最終目標は、種を超えて利用可能な発生工学の技術確立し、多様な動物の遺伝資源を細胞レベルで半永久的に保存することです。

Q2 現在の研究について教えてください。

マウスをモデルに用いて、宿主の精巣に移植した精子幹細胞の振舞いを単一細胞レベルで解明し、さらにそれを制御することで、現在非常に低い移植効率を実用可能なレベルまで向上させることに挑戦しています。（詳しくは当研究室HPへどうぞ）

Q3 具体的にどんな実験をしていますか？

ほ乳類の精巣は精細管と呼ばれる管上の組織が折り畳まれています。これを丁寧にほぐしてスライドグラスに貼り付け（右図）、移植した生殖細胞一つ一つをじっくり観察しています。これまでに観察した精細管の長さが陸上トラック1周（400m）を超えました（笑）

Q4 意気込みをお願いします。

「為せば成る」そう信じて、ひたすら愚直に邁進しています！